

アコーディオンと歌

もと仏系のカルフルへ買物に
でかけると、歯切れの良いミュゼ
ットトーンが軽やかに流れてくる
ので度々足を運んでいる。

パリでは街角で、地下鉄ですご
いテクニシャンがボタンアコを奏
しており、サボイホテルの街路で
はパガニーニを奏するバイオリニ
スト、更に、先日ロンドンのコベ
ントガーデンで素晴らしいアルト
のメリウイダーに引かれ聴き入っ
ていると、突然踊りましょうと手
をとられた。なんと隣のロイヤル
オペラの歌い手であった。日本で
は全く見られない光景である。

日本のように音楽にランクをつ
け、有名か否かで判断するような
悪弊はどの国にもない。つまり生

活に音楽がまだ溶け込んでいない
ようである。

10年程前、仕事で北欧の福祉施
設(老人)を何ヶ所か訪問したが、
ホールで上手下手は別にして、全
員が交代でアコかピアノでダンス
の伴奏をされており、羨ましい
情景であった。音楽や語学を苦手
にさせる教育のあり方が反省させ
られる。今は幼少から楽器にも親
しむようになったが日常歌われる
曲はリズム中心のJ-POPか、良く
似たメロディーの演歌が中心で、
曲の美しさ、日本語の美しさがす
っぽり穴となっている。

なんとかそんな曲を残したいと
先日も「美しき歌の会(ラジオ歌
謡の会)」で堀部先生に御力添え頂

理事 門脇光也



き、神戸NHKサテライトでPRした
ところである。アコ仲間の山崎さ
んや内藤さんらと病院、施設を回
っていると手を合わされるお年寄
りもおられる。しかし夏祭りでは
小学生がめずらしいアコの音に聞
き入り、電子楽器とは違うアコー
ステックな美しさを感じとってく
れたなあとうれしくなって、また
がんばっている昨今である。

アコーディオンと共に



3歳の時、紅白歌合戦をみて「マ
イクを持ち、歌っていたらしい」、
その頃、カラオケはなく、音楽す
る人に憧れた時代、LPレコードを
聞くことが楽しみであった。
保育園のゆうぎ会では、鍵盤ハー
モニカと太鼓が面白かった。
小学2年生の頃、町にピアノの先
生が来たことで、同級生9人がピ

アノを習っていたのだが、私は最
後に習った。4年生のときにアコー
ディオンを初めて触り「白い恋人
たち」を弾くことになった。面白
かったのを覚えている。さて、合
唱と弦楽器を経験してから……

2003年、あるきっかけでアコー
ディオンにお世話になることにな
りました。押さえる位置がわかっ
てくるにしたがって表現するのが
大変な事に気がきました。

アコーディオンを習ったことで
これはできるなと思ったことがあ
りました。丁度、知人に病院にい
る人がいて、音楽が聞きたいとい
うのです。そんな時アコーディオ
ンを弾くことができたことがよか

理事 西辻善則

ったと思いました。以来、アコー
ディオンを持っていけば、彼は、
喜んでくれ……私にとってもまた
音楽ができたことがよかった。

アコーディオンは、世界でもつ
とも親しまれている楽器のひとつ
で、奥が深いです。いろいろなジ
ャナルに挑戦しています。

現在は、「NPO法人日本アコー
ディオン協会」の理事として、
「AAA理事」として、様々な事業
に携わっております。

私の未来に向けて、やっておき
たい事はいろいろ(秘密)ですが、
アコーディオンと共に世界が広が
る事だと思っております。